

夢 詩

第3号

令和3年8月30日
五ヶ瀬中等教育学校
図書委員会発行 図書便り

フォレストピア学びの森
宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
〒882-1203
西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所9468-30
Tel : 0982-82-1255 Fax : 0982-82-1266



図書委員の垣内和馬です。あっという間に長い夏休みも終わりました。夏休み中、「たくさん本を読んだ！」という人もいれば、「ずっとクーラーの効いた部屋でゲームした！」という人もいます。僕は夏休み中に普段自分があまり読まないジャンルの本にチャレンジすることができました。これからしばらくはコロナ禍で外出できない期間が続くため休日を自室で過ごすことも多くなると思います。ぜひ、自室で過ごす時間を活用して、夏休み中読書をしなかった人も、読書を楽しんでください

特集

芥川 龍之介

～ 芥川賞の正式名称を
知っていますか？～



7月といえば「芥川龍之介」です。なぜなら、7月24日が『羅生門』や『鼻』で知られる作家・芥川の命日だからです。この日は「河童忌（かっぱ忌）」と呼ばれ、多くの芥川ファンがお墓のある東京都豊島区の慈眼寺で行われる法要に集まります。

ところでみなさん。有名な文学賞のひとつに「芥川賞」というものがあります。芥川の友人の菊池寛が、芥川龍之介の業績を記念して、1935年に創設した文学賞です。この賞、いまや新聞やテレビでも「芥川賞」と呼ばれているので知らない人も多いと思いますが、正式にはその由来である芥川龍之介の名前をまるっと冠して「芥川龍之介賞」といいます。同じく有名な文学賞「直木賞」も正式には「直木三十五賞」と言います。

今回は、そんな「芥川賞」創設の元となった大正時代を代表する作家・芥川龍之介について紹介します。

ちなみに、芥川がたばこを吸っている横の写真は芥川が亡くなる一年前に芥川の自宅で撮影されたものです。この写真とともに芥川の映像が残されているのですが、なんと、この映像では芥川は自身の子供のあとを追いかけて木登りをしています。クールな印象が多い芥川が子供と一緒に木登りをするなんてとても意外ですね。



芥川龍之介プロフィール
本 名 芥川 龍之介
生年月日 1892年3月1日
出身地 東京府東京市京橋区
(現：東京都中央区)
死 没 1927年7月24日(35歳没)
活動期間 1914年-1927年
代表作 『羅生門』『地獄変』『鼻』
『歯車』『河童』『芋粥』
妻 塚本 文



東京帝大英文科卒。在学中久米正雄、松岡譲らと第三次『新思潮』を創刊。短編『鼻』が夏目漱石の激賞を受ける。その後今昔物語などから材を取った『羅生門』『芋粥』『藪の中』中国の説話によった童話『杜子春』などを次々と発表。1925（大正14）年頃より体調がすぐれず、「唯ぼんやりとした不安」のなか薬物自殺。享年35歳。



ちなみに、この河童の絵は芥川が描いたものです。執筆活動だけでなく、絵画も描いていたとは、多才な人だったんですね。

せっかくなので「河童」を読んでみた垣内の感想

人間の視点から空想の河童の国をおもしろおかしく描いて、芥川龍之介の想像力がすごいと思った。また、人間もほかの動物の視点から見たらこんな風に見えるのかなと思った。

【「河童」あらすじ】主人公の「僕」は山登りの最中、河童の国に迷い込む。河童たちは主人公を「特別保護住民」として扱い、「僕」も河童の風習や文化に触れていく。やがて「僕」は河童の国から脱出するが、一年後、事業に失敗したのをきっかけにまた河童の国へ戻りたくなる。芥川晩年の代表作。

いかがでしたか？ 芥川龍之介のことをあまり知らなかったという人は、彼がこんな人物だったとは！と驚いたかもしれません。興味を持った人は、ぜひ『羅生門』や『河童』など芥川作品を一度、読んでみてください。

本校図書館には『芥川龍之介全集』（横の写真）という芥川作品を全て収録している全集があります。ぜひ、読んでみてください。



今月の一冊



題名：密やかな結晶
著者：小川 洋子

内容

記憶狩りによって消滅が進む島の生活。「わたし」も、言葉や、自分自身を失っていった。有機物であることの人間の哀しみを澄んだまなざしで見つめ、空無への願望を、美しく危険な状況の中で描く傑作長編。

図書委員・田浦の感想

この本は時間が経つにつれてものの存在がなくなっていく島での物語なのですが、不思議な世界観に引き込まれるものとなっています。

ものの存在を忘れることのない男を匿って、警察から隠し続ける生活や主人公のゆっくりと消滅していく過程をとくと楽しんでください。